

補助金公募実施結果

令和6年1月16日
資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部省エネルギー課

事業名：令和5年度補正「中小企業等エネルギー利用最適化推進事業費（中小企業等に向けた省エネルギー診断拡充事業）」

(採択事業者)

事業者名	法人番号	提案価格
一般社団法人環境共創イニシアチブ	1010005016502	2,099,824,000

(提案事業者名) ※五十音順
①一般社団法人環境共創イニシアチブ
②株式会社博報堂

(審査委員属性)
研究機関職員
大学教授
コンサルタント
※審査委員の属性と下記にある委員の順番は対応していない

(採点結果)

提案事業者名	委員A	委員B	委員C	合計
一般社団法人環境共創イニシアチブ	69	93	91	253
AAA	59	40	90	189

提案事業者名	応募資格	事業内容	事業実施体制	事業実施計画	事業費	業務管理費	賃上げ・ワークライフバランス	合計
一般社団法人環境共創イニシアチブ	適	91	95	13	13	41	0	253
AAA	適	78	67	8	11	19	6	189

(評価コメント)

提案事業者名	コメント
一般社団法人環境共創イニシアチブ	・登録診断機関の拡充について、募集期間はもう少し長くとるか、年間を通じて登録が可能にするなどの工夫を期待したい ・登録診断機関の増加や準専門家数の育成促進に向けては、登録診断機関（企業等）のメリットや専門家・準専門家候補にとってのメリットの充実が重要と考える。本取組の実績を表彰したり、診断機関内で人事考課等で評価に活用できるような個人への専門家認定・表彰制度などのインセンティブの検討を期待したい ・診断等の業務の均質化に向けて、計測が重要なカギを握ると考えるが、計測方法の標準化や計測ツールの貸し出しなど専門家のサポート強化が重要と考える。エネマネ事業拡大も計るため、エネマネ事業者を登録診断機関候補に加えるなど検討いただきたい ・診断等の業務の均質化に向けて、専門家と派遣元、専門家と執行団体の業務の更なる簡素化・システム化も有効と考える。 ・中小企業へのアプローチ強化のため、マスメディアの活用は良い方法と考える。中小企業に取材を精力的に行っている工業系や業界系の新聞社との連携等効果的な施策を期待したい。 提案内容が具体的で、事業実施のスケジュール感も、過去の事業に照らし合わせて、実施可能であると判断される。簡易診断の機会を周知するなど、応募者の心理的なハードルを下げるような工夫をさらに進めていただきたい。 自社での経験を活かし、本補助事業の柔軟な運用に心がけ、応募者数増加に向け取組もうとしている姿勢。また、自社内に十分な人員を確保し、スムーズに応募内容に対応しようという取組は、評価に値する。然しながら、この応募者数増加に向けた広報関連の取組について、もう少し目新しさがあれば、さらに良かったと思考する。
AAA	・診断希望事業者への周知・サポートについては、さまざまな対応が検討されており高く評価できる ・登録診断機関の良し悪しや数が確実な予算執行には欠かせないと考えるが、提案書や発表上でその点について言及がほとんどなく評価が難しかった。特に以下の点については今後ご検討をお願いしたい。 （１）診断業務の品質を判断する基準や審査に関する有識者は、本事業応募段階にて事前に決まっていないとスケジュールならびに診断業務品質への不安がある （２）診断品質確保のために各登録診断機関の能力や対応力、また予算執行力拡大のための登録機関数の拡大についての貴社の考え方や具体的な施策 省エネ診断の実施候補者が具体的でない。実際の診断業務の内容が今回のプレゼンテーションではわからなかった。公募開始が3月上旬ということだが、実際の診断にどの程度の時間を要するかなど、具体的な診断のタイムスケールがわからなかった。繁忙期を想定しているとのことだが、現状の体制が何件の診断を通常は想定しており、繁忙期にはどの程度といった具体的な数値の見込みを示してほしい。診断希望者は全国各地にいる際に、どのように診断を進めるのか、具体的な方法が不明であった。 自社のネットワークを存分に活用した、応募件数増加に向けた取組は、高く評価に値する。然しながら本補助事業は、年間を通して常に柔軟な運用を求められるものであり、現在、委託先に業務依頼を予定している内容については、内政化することで、スムーズかつダイレクトに応募事業者の声を反映させることが可能と思考する。